

長崎を求めて

はん だ ひろ み
半田 弘美さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。
その卓越した識見には、なにやら一家言ありそつです。
ざつくばらんに寄稿願いました。

旧琴海町に育ちました。しかし幼い頃から琴海町も長崎市と同じ「長崎」だと思っていましたので、どちらも生まれ故郷「長崎」として大切に思っていて、大好きでした。そして根柢なく長崎が1番！と思っていました。

しかし就職で県外へ。県外でできた友人知人に長崎のことを紹介すると・・・、あれ!?ちゃんぽん、カステラ位しか言葉が出てきません。これでは長崎に興味を持ってもらえません。少し勉強した方がいいかな、と思いました。

そうしているうちに結婚、子供も生まれ、私は情緒不安定に（産前産後はホルモンバランスが崩れます）。強い「長崎シックス」になりました。

という訳で、長崎についての知識を強く求めるようになりました。帰省の際に見つけた長崎検定公式テキストブックで勉強です！4回ほど通しで読みました。

育児に追われつつ、平成28年に2級・3級を東京で取得。知れば知るほど、おもしろい長崎。1級も熱意のままに求めました。

しかし第3子を妊娠。予定日は1月下旬。なんと産後入院中に長崎検定が実施されると知り、焦りました。

産院のドクターは、体調次第ですが快く外出を許可してくださいました。帝王切開でしたので、手術直前までみっちり勉強し（もちろん対策講座も受けました）、検定に臨みました。里帰り出産のため長崎で受けました。

手に汗握る検定でした。シャーペンも汗で滑るほど。手術後6日目でしたので、頭もフラフラでした。でも目だけはギラギラしていたはず。検定帰りは母が運転する車でシートを最大に倒し、目を閉じ、しかし口はずっと検定の話をし続けていました。

合否通知を受け取るまで、合否が気になり、ずっとモヤモヤしていました。合格通知を受け取ると叫んでしまつて、上の2人の子供達と抱き合つて歡喜しました。生まれ変わったような気持ちになりました。もう最高です！

家族や産院のスタッフさんの協力を得ての合格

でした。大きな感謝を伝えたいです。当然ですが、これからも長崎の勉強を続け、小さな子供達や子育て中の女性に長崎の魅力を伝えていきたいです。

まずは末っ子が乳離れしたら、さるくガイドを目指します。

そのために住まいのある千葉県船橋市から長崎へUターンしました（夫は後ほど合流の予定です）。それにしても、子連れでも受けられる長崎学セミナーを開いてほしいと強く願う今日この頃です。



【プロフィール】

長崎市滑石生まれ、旧琴海町育ち、3児の母。長崎学を求める傍ら、育った琴海の歴史も勉強中。18年間県外で過ごしたが、長崎へUターン。好きな長崎グルメ:からすみ、よりより好きな長崎の祭り:ランタンフェスティバル好きな長崎の風景:琴海地区の大石から見る満月の夜の大村湾